

平成 26 年度第 1 回豊橋市立小・中学校通学区域審議会 会議録要旨

- 1 開催日時 平成 27 年 2 月 27 日（金）午後 1 時～午後 2 時
- 2 開催場所 豊橋市役所東館 12 階 教育委員会室
- 3 出席者 ・委員：岩崎正弥、戸田文雄、小原昌子、田中敏一、河合信幸、川瀬知幸、笹野 壽、中村則夫、杉浦 均 ※敬称略
・事務局：加藤喜康（教育政策課長）、宮崎正道（学校教育課長）、山本誠二（教育政策課課長補佐）、酒井憲一（教育政策課指導主事）、三浦正雄（教育政策課主査）、大橋史明（教育政策課主事）

4 欠席委員 無し

5 議 事

進行：事務局 教育政策課長

（1）委員の紹介

岩崎正弥委員より順に自己紹介

（2）役員を選任について

互選により会長に岩崎正弥委員、副会長に戸田文雄委員を選出

進行：岩崎会長

（3）経過及び現状について

- ① 豊橋市立小・中学校通学区域審議会の主な経過について
- ② 学校別児童生徒数と学級数の推移（予測）について
- ③ 特定地域隣接校選択制及び特認校制について

○主な意見、質問

<委員>

豊小学校と多米小学校の卒業生は、どの中学校へ進学するのか。

<教育政策課長>

豊小学校は豊岡中学校、多米小学校は東陽中学校へ、それぞれ進学する。

<委員>

岩田小学校の特定地域隣接校選択制が廃止されたが、廃止の条件は児童数の減少なのか。

<教育政策課長>

居住校区と通学する学校が異なることでの地域コミュニティの問題もあり、過大規模が解消され、その後も児童数増加が見込まれない場合は地域との協議の上、廃止の方向で検討する。

<会長>

特定地域隣接校選択制の対象校である吉田方小学校では、問題点はあるか。

<委員>

これまで成人式、子ども会等、様々な問題があったが、学校、地元、行政と協議し、それぞれのルール等が確立されてきている。今後の課題としては、それらをきちんと周知していくことであると考える。

吉田方小学校は特定地域隣接校選択制を利用する人数が多いことで過大解消につながりメリットはあるが、逆に人数が増えた花田小学校と松葉小学校は教室の数など問題点はないか。

また、岩田小学校に経過措置を設けたのはどのような理由か。

<教育政策課長>

例えば、兄が特定地域隣接校選択制を利用していた場合、弟も同様に利用したい場合があるので、経過措置を設けた。

<副会長>

児童生徒数予測によると、平成32年は吉田方小学校が1250名になり、過大解消のために1000人以内に抑えると、松葉小学校と花田小学校で250名増えるということになる。実際、教室の数は大丈夫か。

<教育政策課長>

花田小学校はまだ余裕があるが、松葉小学校は、あと1教室が空いている程度で、特別支援学級が増えると苦しい。

<委員>

特別支援学級は、環境さえ適切に整えば1教室を間仕切りして2学級を設置できる。それよりも35人学級が拡大した場合に対応できる教室の利用増が苦しい。

<教育政策課長補佐>

松葉小学校を選択できるエリアは宅地開発等で今後も増加が予想される。また、昔と指導法が変わり、少人数指導を行っている教室数に余裕がない状態では、それが実現できなくなり、苦しいのではないか。

<副会長>

小規模の時に児童が増えるのはうれしいが、増えすぎると窮屈に感じる。感情的な面もあるが、児童数の推移をしっかりと分析した上での早めの施設面の対応が必要である。

<委員>

児童生徒数予測の中学校生徒数は、特定地域隣接校選択制を利用した松葉小学校と花田小学校の児童数を組み込んでいるか。

<教育政策課長>

組み込んでいない。しかし、特定地域隣接校選択制を利用した松葉小学校と花田小学校の児童は、それぞれほぼ豊城中学校、羽田中学校に進学しているのが実態である。

<委員>

岩田小学校と豊小学校の特定地域隣接校選択制を利用する児童は、豊岡中学校に進学することになるので、特定地域隣接校選択制の利用人数が豊岡中学校の在籍生徒数に影響を及ぼす影響は少ない。

吉田方中学校や羽田中学校では、人数による学校運営上の問題があるか。

<委員>

今は問題ないが、児童生徒数の見込みをふまえ、将来を見通して早めに手を打ちたい。ちなみに生徒数の増減による対応として、羽田中学校では野球部と女子バスケットボール部を増やし、吉田方中学校は水泳部を廃止するという措置をとっている。

<委員>

特認校制の転入学許可条件に「校長との面談」とあるが、転入学を断られトラブルになったことがあると聞いた。現実、特別な支援を必要とする児童の受入をどうするかなど、許可条件の細かい取り決めが必要ではないか。

<教育政策課長>

面談をとおして、学校の運営方針に賛同することや学校行事への積極的な参加、保護者による送迎などを取り決めている。

トラブル等の問題については、具体的な内容を確認する。

<会長>

特認校3校の中で、特に賀茂小学校の利用が少ないが、背景にどのような問題があるか。

<副会長>

やはり、「遠い」という地理的な問題でしょう。

【事務局より】

今後の予定については、検討事項がなければ、今年度の開催は今回だけと考えている。